

お見舞い

新型コロナ肺炎の大流行が私たちの生活に深刻な影響を与えています。歯科は中でもハイリスクの職種とみなされていますが、患者様がいる限り、医院を閉じるわけにもいかず、皆様におかれましては毎日辛い日々を送られている事とお見舞い申し上げます。仲間の先生方にお聞きしますと、やはり感染対策に汲々としているという訴えと同時に、患者さんの動きが完全に止まってしまい、患者さんの激減が経営にも多大な影響を与えてきている、という声を多数聞きます。先生方におかれましては、感染防御につとめ、非常事態が解決され、再び正常な医療ができるまでご健康に過ごされます様、心よりお祈り申し上げます。

新型コロナウイルス・ラオスの現状



OISDE ラオス事務所の持田所長からの報告によりますと、新型コロナウイルスの感染者数は19名で直近19日間の新規感染者は出ていないとのこと。取り敢えず、深刻なパンデミックは避けられた模様です。5月4日より17日の限定期間ですが、県外の外出、出勤、飲食店の営業など対策の一部緩和を認めたそうです。

ラオス政府による徹底した感染防止対策が功を奏したのはもちろん、ラオスは4月から猛烈に熱くなり、さらに雨季に入りますので、ウイルスが増殖しにくい環境になってきたのも感染者数の爆発的増加に歯止めがかかったものと思われる。

OISDE のプロジェクトに対する新型コロナウイルスの影響

現在、ラオスは空路・陸路を含め全て運行停止になっており(食料品などを除く)、いわば鎖国状態にあります。5月中旬までの感染予防対策の緩和が新たな感染者増に繋がらなければ、さらなる緩和、そして国際線の運行停止の解除に繋がるものと期待されています。さらに、ラオス現地でのプロジェクトの再開も見込まれ、特に看護師の僻地巡回診療の研修を開始できると思われています。日本からラオスへの渡航は日本の感染状況がどこまで改善するかによりますが、なんとか夏場までには我々の渡航が叶うよう期待しているところです。

金属回収事業に対する私たちの考え方。

こういう時期ですので、敢えて金属回収事業へのご協力をお願い致しません。患者数の激減に対する備えとして、どうか回収金属をお役立て下さい。新型コロナウイルスが収束し、また、以前のような正常な歯科医療ができるようになりました、その折にはまた、是非ともご協力をお願い申し上げます。

OISDE のホームページにもラオスの現状を記事にしてあります。👉 oisde.com

特活) 歯科医学教育国際支援機構

東京都中野区沼袋 1-44-2

TEL/FAX 03-338-6605

Email: oisdetokyo@gmail.com

ホームページ: oisde.com